

日本の「宇宙開発発祥の地」国分寺市がお届けする国分寺市「おとなの宇宙の学校」
宇宙と科学の魅力にふれる3回シリーズ！学びをつなぐおとなのための講座！

宇宙へのいざない

- 宇宙輸送と電気 -



第1回 令和5年2月18日(土)10:00~12:00 国分寺市立本多公民館
『飛行機のように宇宙へ行く』

講師：丸 祐介 さん

JAXA宇宙科学研究所 宇宙飛行工学研究系 准教授 専門は宇宙輸送システム、推進工学
大学院生時代より宇宙科学研究研にて、将来の宇宙輸送システムの研究を行っている



持続的な宇宙活動を展開していくためには、その活動を支えることができる宇宙輸送システムを構築することが必要です。本講演では、宇宙ロケットを飛行機のように社会に受容される乗物にするために何が必要かを考えたいと思います。また、飛行機のように地球のまわりの大気をうまく使って宇宙に行く輸送機のコネプトや技術をご紹介します。

第2回 令和5年3月4日(土)10:00~12:00 国分寺市立本多公民館
『電気がなければ始まらないーエネルギー充填120%ー』

講師：曾根 理嗣 さん

JAXA宇宙科学研究所 宇宙機応用工学研究系 准教授 専門は宇宙用電池、燃料電池、生命維持技術
小型高機能科学衛星「れいめい」所内チーム長、総合研究大学院大学宇宙科学専攻兼務



宇宙での探査には、エネルギーの確保は必須であり、一般的には太陽電池で発電を行いつつ、余剰電力をバッテリーに蓄えます。特に、長期間にわたり宇宙機の運用を維持するためには、電力機器の性質に踏み込んだ理解と、運用中のデータの詳細な理解が不可欠になります。ここでは、燃料電池やリチウムイオン二次電池の宇宙利用について紹介しつつ、特に「れいめい」衛星を17年にわたり支え続けている電池の紹介や、「はやぶさ」で起こった不具合からのバッテリーの修復作業などをご紹介します。また、閉鎖環境でヒトを生かすために必要な酸素製造技術や、二酸化炭素から水を回収する技術を紹介しつつ、このような宇宙技術を今日の地球環境保全に生かす取り組みについてもご紹介します。

第3回 令和5年3月18日(土) 10:00~12:00

『三菱みなとみらい技術館（横浜市）』施設見学

講師：並木 道義 さん

認定NPO法人子ども・宇宙・未来の会 会長、JAXA宇宙科学研究所 広報
実物のロケットのフェアリング(一部)やエンジンなどの見学、シアター視聴、ミニ講演等(予定)



*第1回、第2回は講演および質疑応答に加え、子どもたちと楽しむための教材もご紹介します。

対象:18歳以上(高校生不可) 定員:30名(先着順) 参加費:全3回3,000円

【申込方法】 メール、またははがきにて「おとなの宇宙の学校希望」、お名前(ふりがな)、ご住所、電話番号、メールアドレス、年齢を記入しご応募下さい。
【申込期間】 令和4年12月16日(金)~ 令和5年1月13日(金) 当日消印有効
【申込先・お問合せ】 国分寺市教育委員会 社会教育課
〒185-0034 国分寺市光町1-46-8 ☎042-574-4044
e-mail: shakaikyoku@city.kokubunji.tokyo.jp



主催:国分寺市教育委員会 協力:認定NPO法人 子ども・宇宙・未来の会(KU-MA)

*プログラムは予告なく変更となる場合があります。